

4 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記方式により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（志摩系：給水能力41,000? /日、南勢系：給水能力128,150? /日）北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川水系：給水能力80,300? /日、北勢系三重用水系：給水能力51,000? /日、北勢系長良川水系：給水能力6,400? /日、中勢系雲出川水系：給水能力81,416? /日、中勢系長良川水系：給水能力58,800? /日）はともに順調な給水を行い、それぞれ地域住民の生活環境の向上に寄与しています。

平成17年度の営業成績は、表14、図21及び巻末資料23のとおり、事業収益は、11,479,013千円（対前年度比91.6%）で、内訳は、営業収益10,787,774千円（対前年度比91.4%）営業外収益673,797千円（対前年度比92.5%）及び特別利益17,442千円（対前年度比皆増）であり、また、事業費用は10,519,040千円（対前年度比94.2%）で、内訳は、営業費用7,664,257千円（対前年度比96.7%）、営業外費用2,849,680千円（対前年度比88.0%）及び特別損失5,103千円（対前年度比皆増）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額959,973千円（対前年度比70.4%）が当年度の純利益となりました。また、バランスシート（貸借対照表）については、図22及び巻末資料23をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図23及び巻末資料24をご覧ください。

一方、建設事業は平成10年度から北中勢水道用水供給事業（北勢系第2次拡張事業長良川水系、総事業費36,100,000千円、給水能力47,600? /日）及び伊賀水道用水供給事業（総事業費27,927,000千円、給水能力28,750? /日）の建設に着手しています。

北中勢水道用水供給事業では、全部給水時期の5年延伸に伴い、将来の受水負担をできる限り抑えることに配慮し、当面、施設整備を必要最低限で実施する措置を講じました。

伊賀水道用水供給事業では、平成21年度の給水開始を目指して、計画的に専用施設の水道施設整備を実施しました。

表 14 平成 17 年度損益計算書 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	7,664,257	営業収益	10,787,774
原水及び浄水費	2,400,708	給水収益	10,783,598
配水費	492,727	その他営業収益	4,176
業務費	433,920		
総係費	341,167		
減価償却費	3,936,479		
資産減耗費	59,256		
営業外費用	2,849,680	営業外収益	673,797
支払利息	2,772,568	受取利息	784
受託工事費	73,943	他会計補助金	596,910
雑支出	3,169	受託工事収益	73,943
		雑収益	2,160
特別損失	5,103	特別利益	17,442
過年度損益修正損	5,103	過年度損益修正益	15,749
		その他特別利益	1,693
当年度費用合計	10,519,040		
当年度純利益	959,973		
合 計	11,479,013	合 計	11,479,013

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図21 平成17年度損益計算書<P/L> (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:千円、% [構成比])

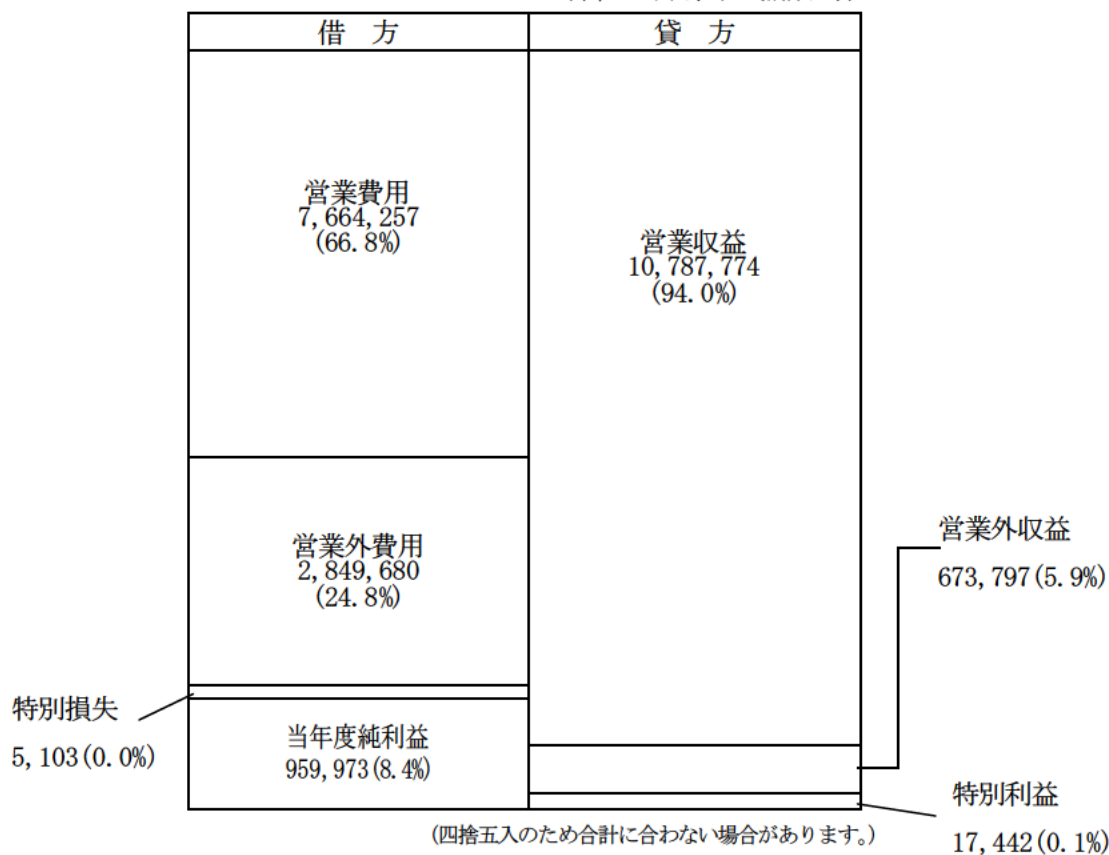


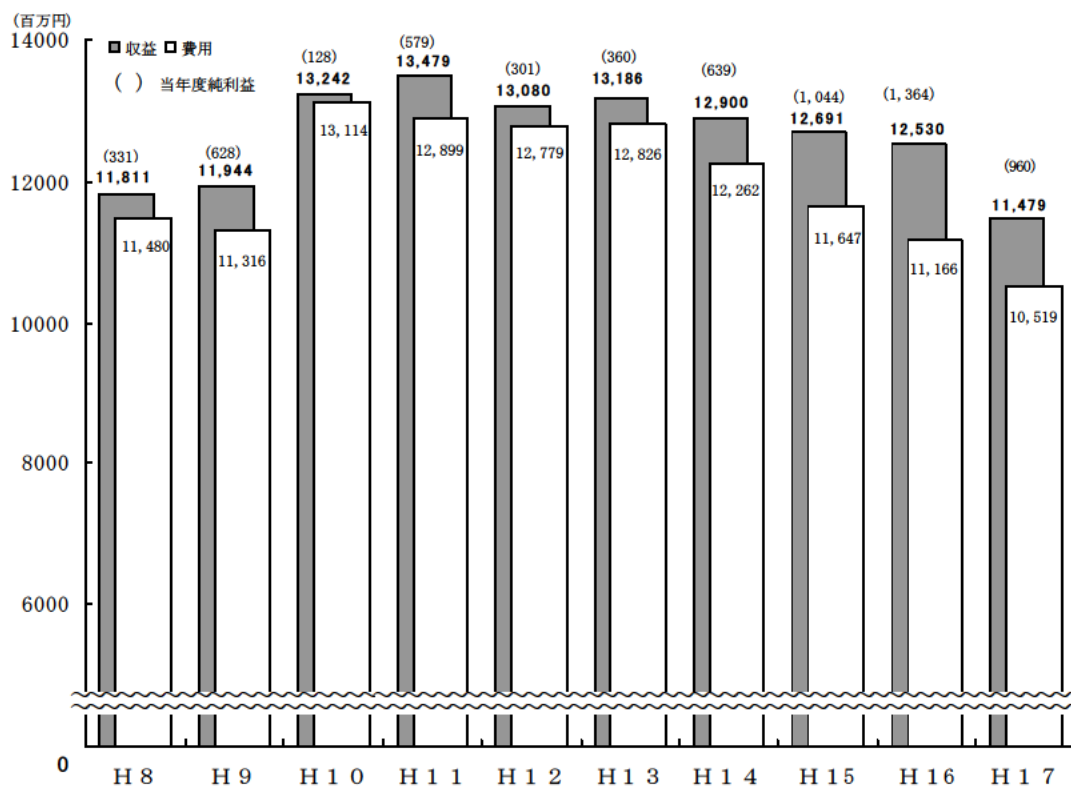
図 22 貸借対照表<B/S> (平成 18 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、% [構成比])

借 方	貸 方
固定資産 176,498,432 (93.2%)	固定負債 13,947,241 (7.4%)
	流動負債 1,431,698 (0.7%)
流動資産 12,836,055 (6.8%)	資本金 125,117,781 (66.1%)
	剰余金 48,837,767 (25.8%) 資本剰余金 47,877,429 利益剰余金 960,338

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図 23 年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 699,290 ? /日）、多度工業用水道事業（契約水量 8,000 ? /日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 19,690 ? /日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 ? /日）の4事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成17年度においては101工場に対し、延べ220,547,608 ? の工場用水を供給しました。

平成17年度の営業成績は、表15、図24及び巻末資料23のとおり、事業収益は、6,152,221千円（対前年度比94.1%）で、内訳は、営業収益6,135,733千円（対前年度比94.0%）、営業外収益11,414千円（対前年度比188.6%）及び特別利益5,074千円（対前年度比113.9%）であり、また、事業費用は5,439,985千円（対前年度比94.9%）で、内訳は、営業費用4,541,029千円（対前年度比95.2%）、営業外費用864,466千円（対前年度比90.0%）及び特別損失34,490千円（対前年度比皆増）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額712,236千円（対前年度比88.7%）が当年度の純利益となりました。また、バランスシートについては、図25及び巻末資料23をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図26及び巻末資料24をご覧ください。

一方、改良事業については、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽劣化施設の更新、補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

表15 平成17年度損益計算書（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,541,029	営業収益	6,135,733
原水及び浄水費	1,610,842	給水収益	5,571,821
配水費	157,131	その他営業収益	563,912
業務費	245,871		
総係費	275,533		
減価償却費	2,238,076		
資産減耗費	13,575		
営業外費用	864,466	営業外収益	11,414
支払利息	861,866	受取利息	4,171
受託工事費	2,586	受託工事収益	2,586
雑支出	14	雑収益	4,657
特別損失		特別利益	5,074
過年度損益修正損	34,490	過年度損益修正益	4,048
		その他特別利益	1,025
当年度費用合計	5,439,985		
当年度純利益	712,236		
合 計	6,152,221	合 計	6,152,221

（四捨五入のため合計に合わない場合があります）

図24 平成17年度損益計算書<P/L> (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借方		貸方	
	営業費用 4,541,029 (73.8%)		営業収益 6,135,733 (99.7%)
	営業外費用 864,466 (14.0%)		営業外収益 11,414 (0.2%)
特別損失 34,490 (0.6%)	当年度純利益 712,236 (11.6%)		特別利益 5,074 (0.1%)

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

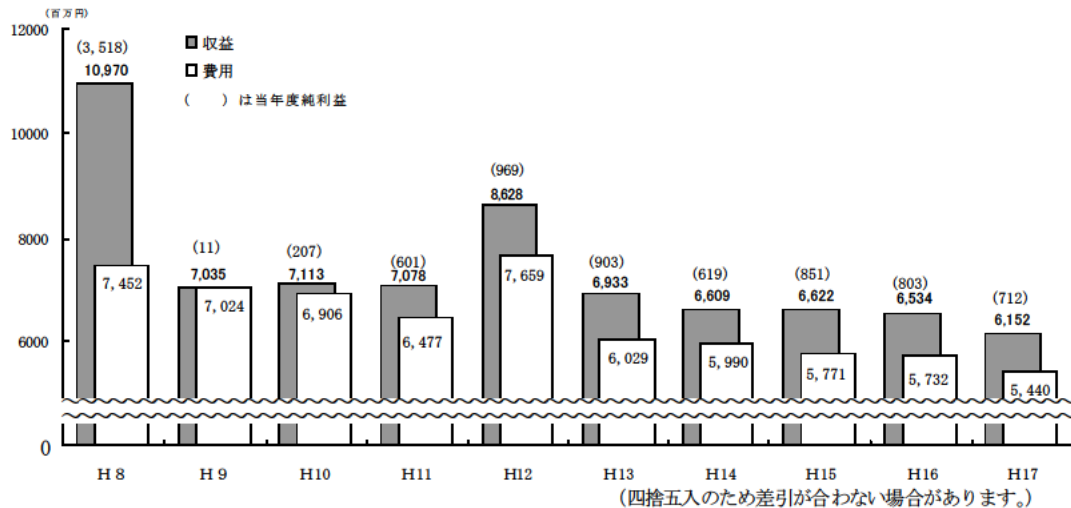
図25 貸借対照表<B/S> (平成18年3月31日現在)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借方		貸方	
	固定資産 120,716,683 (89.9%)		固定負債 14,724,345 (11.0%)
			流動負債 477,518 (0.3%)
			資本金 77,977,560 (58.1%)
	流動資産 13,596,474 (10.1%)		剰余金 41,133,734 (30.6%)
			資本剰余金 40,417,922
			利益剰余金 715,812

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図26 年度別の総収益・総費用の推移



3 電気事業の概況

営業関係では、平成 16 年 8 月の台風 10、11 号及び 9 月の台風 21 号の影響による集中豪雨のために水力発電所が大きな被害を受け、長、宮川第一、宮川第二、宮川第三、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の 10 発電所（最大出力 97,800kW）全てが、一時運転を停止しました。早期復旧に努めた結果、宮川第一、宮川第二、宮川第三、青蓮寺、大和谷、蓮及び比奈知の 7 発電所は平成 16 年度に、三瀬谷及び青田の 2 発電所は平成 18 年 2 月に運転を再開しました。長発電所については、現在、発電設備復旧工事を施工しています。また、平成 17 年度は年間降雨量が非常に少なく湯水となり、その結果、発電量は目標電力量 318,192,000kWh に対し、供給電力量 156,049,077kWh（49.0%）となりました。

三重ごみ固形燃料発電所は、平成 16 年度に運転を再開しましたが、平成 17 年度も貯蔵槽のない状態で R D F を安定的に処理できる範囲内で運転を行いました。その結果、R D F 48,364 トを受け入れ、62,897,500kWh の発電を行いました。

平成 17 年度の営業成績は、表 16、図 27 及び巻末資料 23 のとおり、事業収益は、3,730,395 千円（対前年度比 120.0%）で、内訳は、営業収益 2,313,365 千円（対前年度比 92.0%）、附帯事業収益 640,066 千円（対前年度比 144.7%）、営業外収益 513,439 千円（対前年度比 340.4%）及び特別利益 263,525 千円（対前年度比 14,551.4%）であり、事業費用は、4,525,171 千円（対前年度比 123.9%）で、内訳は、営業費用 2,240,331 千円（対前年度比 103.5%）、附帯事業費用 1,057,803 千円（対前年度比 102.8%）、営業外費用 726,627 千円（対前年度比 158.8%）及び特別損失 500,410 千円（対前年度比皆増）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額 794,776 千円が当年度の純損失となりました。また、バランスシートについては、図 28 及び巻末資料 23 をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図 29 及び巻末資料 24 をご覧ください。

その他、平成 9 年度からの継続事業である川上発電所建設事業（総事業費 1,705,698 千円・最大出力 1,200kW）は、水資源機構が建設している川上ダムの建設費を負担しました。また、宮川ダム維持放流発電設備建設事業（最大出力 220kW）は、台風 21 号の影響による災害のため工事の進捗に遅れが生じ、予定より 1 年遅れましたが、平成 17 年度末に完成しました。

表16 平成17年度損益計算書（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	2,240,331	営業収益	2,313,365
宮川第一水力発電費	107,760	電力料	2,311,078
宮川第二水力発電費	226,851	その他営業収益	2,287
宮川第三水力発電費	83,838		
長水力発電費	20,798		
三瀬谷水力発電費	704,823		
大杉貯水池費	275,557		
青蓮寺水力発電費	19,503		
大和谷水力発電費	167,956		
蓮水力発電費	115,194		
青田水力発電費	212,617		
比奈知水力発電費	56,389		
一般管理費	249,045		
附帯事業費用	1,057,803	附帯事業収益	640,066
R D F焼却発電費	1,057,803	電力料	443,596
		その他附帯事業収益	196,470
営業外費用	726,627	営業外収益	513,439
支払利息	353,274	受取利息	4,664
受託事業費	361,905	受託事業収益	361,905
雑支出	11,448	雑収益	146,870
特別損失	500,410	特別利益	263,525
過年度損益修正損	156,179	過年度損益修正益	178,854
臨時損失	344,231	その他特別利益	84,671
		当年度収益合計	3,730,395
		当年度純損失	794,776
合 計	4,525,171	合 計	4,525,171

（四捨五入のため合計が合わない場合があります。）

図 27 平成 17 年度損益計算書<P/L>（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：千円、%〔構成比〕）

	借 方	貸 方	
	営業費用 2,240,331 (49.5%)	営業収益 2,313,365 (51.1%)	
	附帯事業費用 1,057,803 (23.4%)	附帯事業収益 640,066 (14.1%)	
	営業外費用 726,627 (16.1%)		営業外収益 513,439 (11.4%)
特別損失 500,410 (11.0%)			特別利益 263,525 (5.8%)
		当年度純損失 794,776 (17.6%)	

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

図 28 貸借対照表<B/S> (平成 18 年 3 月 31 日現在)

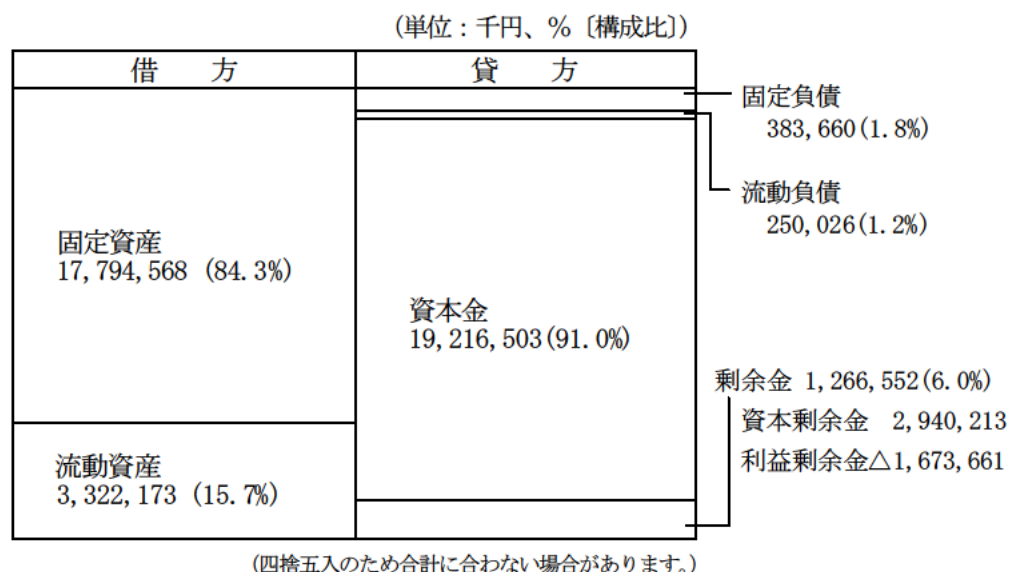
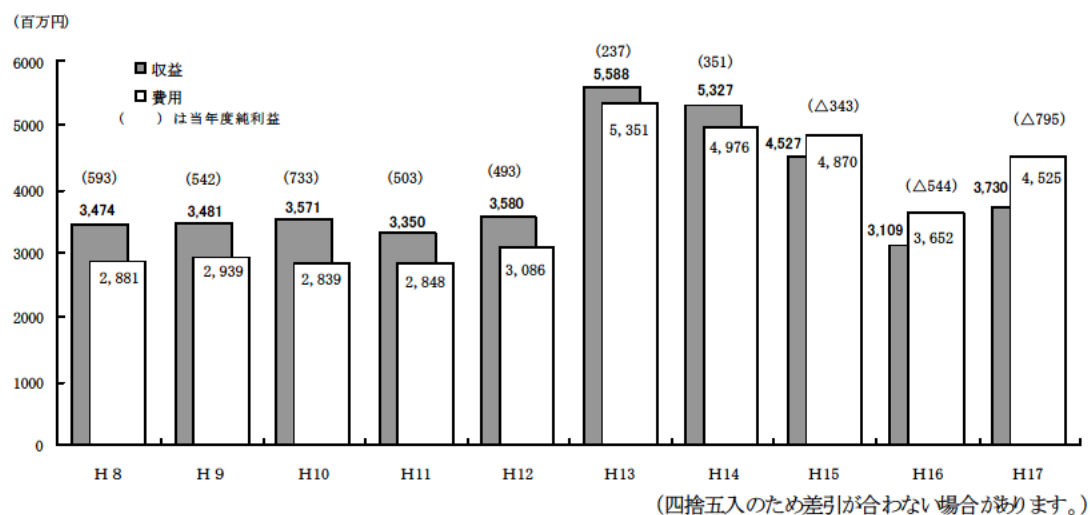


図 29 年度別の総収益・総費用の推移



4 病院事業の概況

三重県病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民の健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めております。平成17年度は、「三重県病院事業中期経営計画」(平成16年度～18年度)の2年目にあたり、三重県保健医療計画に明記された県立病院としての4つの役割(医療提供の視点、人材育成の視点、先進的な取組の視点、安全・安心をささえるセーフティーネットの視点)を果たすべく、平成14年度から導入した新しいマネジメントシステム(バランス・スコアカード)を活用し、各病院の経営方針の徹底及び全職員参画型の経営に取り組んでまいりました。しかしながら、昨今の医師・看護師確保の困難な状況は、各病院の自立的経営を難しくしており、これら要員の確保は、喫緊の課題となっております。

平成17年度における患者の利用状況は、入院患者が延べ390,173人(1日平均1,069人) 外来患者が399,151人(1日平均1,636人)で、前年度に比べ入院患者数は延べ7,316人の減少、外来患者数は、延べ15,503人の減少となりました。

平成17年度の営業成績は、表17、図30及び巻末資料23のとおり、医業収益は147億9,951万円、医業費用は168億8,729万2千円で、差引きした医業損失は20億8,778万2千円となりました。

これに他会計補助金等の医業外収益32億8,506万3千円と企業債利息等の医業外費用12億6,928万1千円を加減した経常収支は、7,200万円1千円の赤字となりました。また、過去に引き当てるべきであった退職給与引当金の計上等による特別損失を1億3,658万2千円計上しました。

以上の結果経営収支は、総収益が180億8,457万3千円、総費用が182億9,315万6千円で、2億858万3千円の純損失を計上したものの、前年度に比べ5億328万8千円の改善となりました。また貸借対照表(バランスシート)については、図31及び巻末資料23をご覧ください。

なお、総収益と総費用の年度別の推移については、図32及び巻末資料24をご覧ください。

また、施設及び設備の整備については、志摩病院の新外来棟建設事業やこころの医療センターにおける保護室増床工事、診療機能の充実・強化を図るための高度医療機器等の導入を実施し、4病院で総額9億9,760万6千円を執行しました。

表17 平成17年度損益計算書 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	16,887,292	医業収益	14,799,510
給与費	9,467,254	入院収益	10,745,328
材料費	3,416,255	外来収益	3,729,588
経費	2,598,481	その他医業収益	324,594
減価償却費	1,315,704		
資産減耗費	29,852		
研究研修費	59,745	医業外収益	3,285,063
医業外費用	1,269,281	受取利息配当金	1,142
支払利息及び企業債取扱諸費	880,485	他会計補助金	421,661
繰延勘定償却	70,490	補助金	75,869
患者外給食材料費	2,155	負担金	2,680,013
雑損失	316,151	その他医業外収益	106,378
特別損失	136,582	当年度収益合計	18,084,573
		当年度純損失	208,583
合 計	18,293,156	合 計	18,293,156

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図 30 損益計算書<P/L> (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：千円、% [構成比])

	借 方	貸 方	
	医業費用 16,887,292 (92.3%)	医業収益 14,799,510 (80.9%)	
特別損失 136,582 (0.7%)	医業外費用 1,269,281 (6.9%)	医業外収益 3,285,063 (18.0%)	当年度純損失 208,583 (1.1%)

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図 31 貸借対照表<B/S> (平成18年3月31日現在)

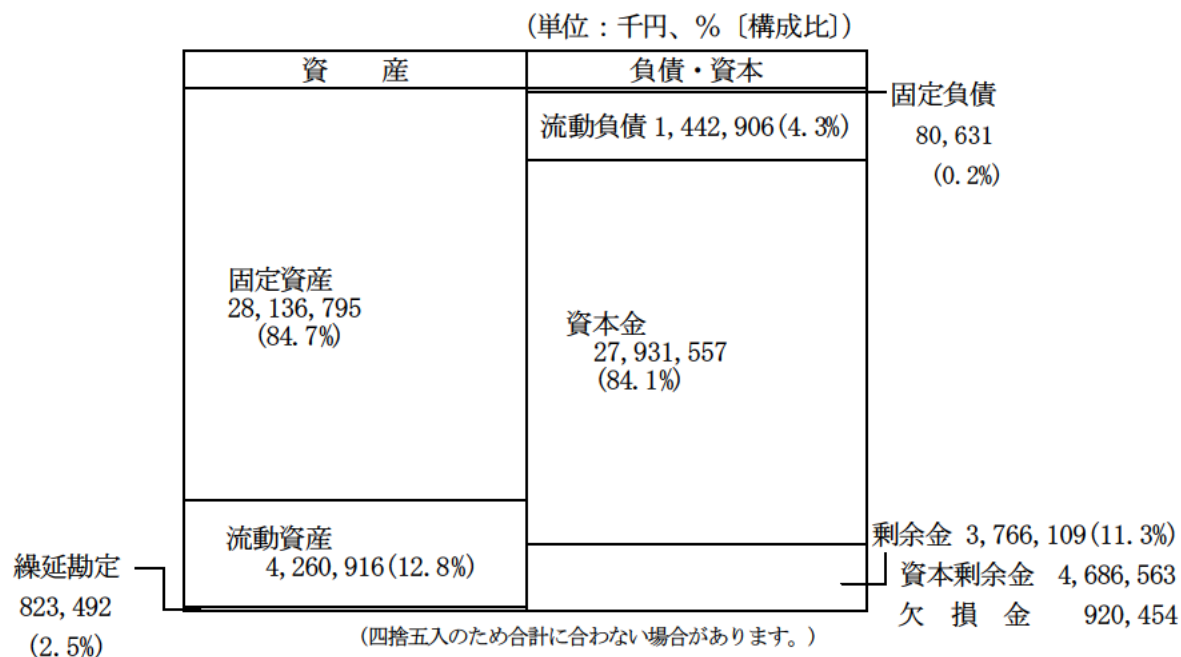
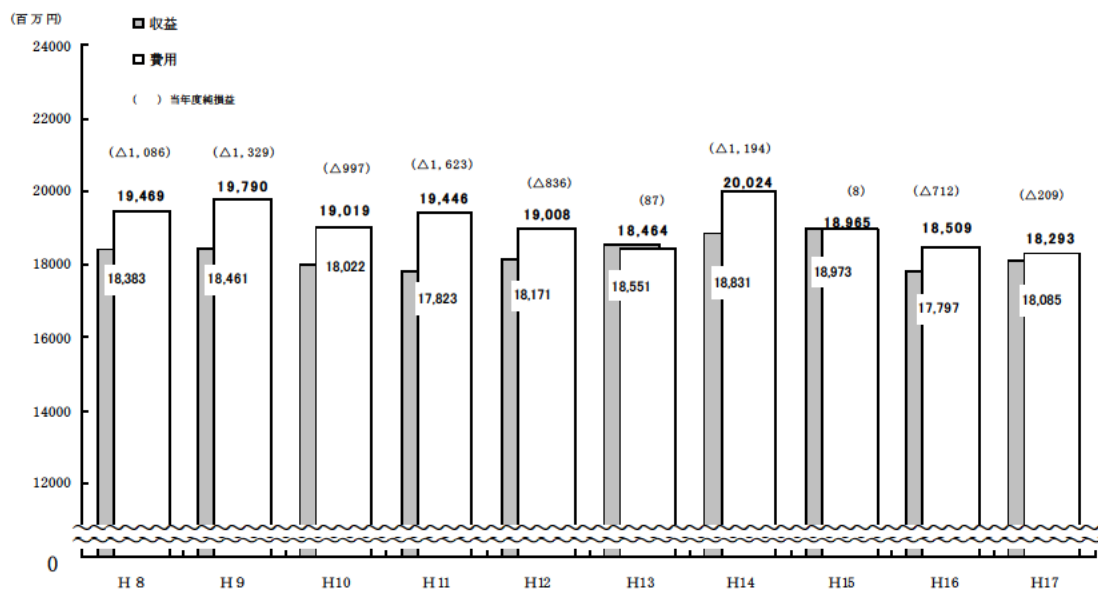


図 32 年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)